



▲ゲストの江川家 42 代目当主 江川洋さん

◀受賞者の皆さん

### 会場に響き渡る美しい歌声

3月9日 江川坦庵合唱コンクールを開催

今年で第4回目となる江川坦庵合唱コンクールを、アクシスかつらぎで開催しました。今年も高校生からシニアまで幅広い年齢層の合唱団 12 組が参加し、自慢の歌声を響かせました。

専門審査員 3 人と、公募で集まった聴衆審査員による審査を行い、江川坦庵賞ほか各賞の受賞者を決定しました。

◀江川坦庵賞（総合 1 位）あい混声合唱団（東京都）



### より快適な公園のため

2月17日 水道組合がボランティアで公園を点検

伊豆の国市水道組合が、市内都市公園の上下水道施設をボランティアで点検・修理を実施しました。市内にある 29 カ所すべての都市公園で点検を行い、そのうち 6 公園で、水道やトイレの老朽化した配管や破損している箇所を交換・補修などを行いました。

同組合は、市民がより快適に公園を利用できるよう、毎年この時期ボランティアで実施しています。

▶雪の残る大仁さつきヶ丘公園で作業を行う組合員



### 治水安全度の向上に期待

3月14日 戸沢川の河川改修事業が完成

市民の安全、安心を確保するための工事、戸沢川改修工事が完了し、完成の記念式典を伊豆長岡庁舎別館で行いました。市の中心部を流れる戸沢川は、その治水安全度の向上を図るため、平成 18 年度から床上浸水対策特別緊急事業などにより、河川の拡幅や橋梁の架け替えを実施してきました。

このたび、待ち望んでいた改修事業が完成したことで、豪雨による浸水被害の軽減が期待されます。

◀関係者らによる記念プレートの除幕



### 世界遺産登録に向け『ガンバロー!!』

2月23日 世界遺産シンポジウムを開催

葦山反射炉をより理解してもらうことを目的に、世界遺産シンポジウムを葦山時代劇場大ホールで開催しました。2つの講演のほか、同反射炉の生みの親『坦庵』を主演にしたオペラなどを行いました。

講演は東京大学史料編纂所教授の保谷徹先生により『幕末軍事史から見た葦山反射炉の価値』、薩摩島津家の末裔である島津公保氏により『産業遺産をいかした地域の魅力づくり』をテーマに行われ、訪れた市民ら 300 人は真剣に耳を傾けていました。

▶薩摩島津家の末裔である島津公保氏



▶世界遺産登録に向け会場一丸となって「がんばろう」を三唱



▲資料を使って講演する保谷先生

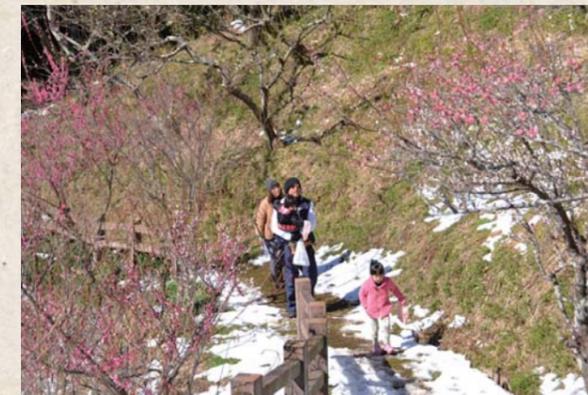
### ウメの紅と雪の白が共演

2月16日 おおひと梅まつりが開催

春の訪れを感じさせる『おおひと梅まつり』が、大仁梅林と大仁神社境内で行われました。会場内のあるところには 14 日に降った雪が残る中、五分咲きのウメが来場者を迎えました。

祭りのメイン会場である神社境内では、子ども能の披露、模擬店なども行われ、ウメの香り・鮮やかな色だけでなく、耳で、舌で来場者を楽しませていました。

◀雪の影響で16日のみの開催となった梅まつり



▶長岡地区では芸妓さんも選手を応援



### 伊豆半島を走って縦断

2月16日 伊豆マラソンが開催

今年で 7 回目を数える伊豆マラソン大会が伊豆市、伊豆の国市、函南町、三島市を舞台に開催されました。県内外から、21.5km、10km、2.6km の 3 コースに、3816 人がエントリー、2965 人が完走しました。

晴天に恵まれたこの日、選手たちは美しい姿を見せる富士山を眺めながら力走。沿道からの声援を受け、春の伊豆を楽しみながら爽やかな汗を流しました。

▶市内（三福）を駆け抜ける 21.5km コースに参加した選手

